



芳工連だより

‘14/01
第117号

□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 河田 茂美

新年明けましておめでとうございます。



昨年は大変お世話になりました。

本年も芳工連の活動にご理解ご協力をお願い申し上げます。

芳賀町工業団地連絡協議会 役員一同



新年のご挨拶

芳賀町工業団地連絡協議会 会長 澤田 知之



明けましておめでとうございます。

平成26年の希望に満ちた新年を迎え、心よりお祝い申し上げます。

昨年は衆参の逆転現象が解消し、安定性を増した現政権が打ち出す経済政策により景気回復の足音が徐々に高まった一年だったと思います。芳工連も新たに進出された企業5社様を会員として迎える事が出来、大変うれしく思っています。

芳工連の活動につきましては、県をはじめ、芳賀町様の御指導及び81会員企業様の御協力のもと、4部会を中心に当初の計画に沿って活発な活動が出来た事を感謝申し上げます。

総務企画部会主催の活動では、将来の人財育成を目的に実施したカテゴリー毎の人材育成研修会が多くの方々から実務で実践出来ると高い評価をいただき、今後も継続的な開催が期待されています。また、多くの親睦活動では今迄以上に多くの会員の皆さんに参加して頂き、感謝申し上げます。

環境整備部会では芳賀町とリンクした「クリーン作戦」を年3回開催し、企業様から延べ500人ものご協力を頂きました。また、春と秋に行われる団地内のプランターや、公園の花壇への植栽活動など継続的な活動が美しい環境造りを支えていると実感しております。

安全衛生部会が開催している年5回の「普通救命講習会」・「安全活動事例発表会」活動では、常にたくさんの会員様に参加を頂き、企業で働く多くの方々の安全衛生環境向上や危機管理に対する意識向上の一助となっております。

交通防犯部会では、行政と同期した春夏秋冬開催の交通安全啓蒙活動、会員様の交通安全意識向上に向けた各種の安全運転講習会の開催を始め、道路インフラ整備に関しては継続的な陳情活動を背景に、国道408号線の供用や宇都宮・茂木線祖母井工区の供用、宇都宮・向田線大塚地区の大幅な道路改修完了など多くの成果を得る事ができました。

このように4部会の活動については皆様のご協力のお蔭で多くの実績をあげることが出来ました。今後とも更に充実した活動を目指して努力して行きたいと思っておりますので、昨年同様多大なるご協力を頂きますようお願いいたします。結びに、会員の皆様の益々のご繁栄を祈願して、新年の挨拶とさせていただきます。

■交通防犯部会活動

1) 交通安全啓蒙のぼり旗・横断幕設置

12月11日～12月31日迄展開される年末の交通安全県民総ぐるみ運動に合わせ、交通防犯部会に於いて、12月12日10:00より10社13名が参加し交通安全横断幕・のぼり旗を管理センター前交差点・芳賀台交差点の2箇所に設置しました。多くの方の目に留まり、年末年始誰一人事故に遭わないようにとの願いを込めての作業でした。



2) 年末の交通安全県民総ぐるみ運動での街頭立哨

18日管理センター前交差点にて、交通防犯部会員による街頭立哨を実施しました。

立哨には、12社16名の部会員が朝早くから集合し、各自のぼり旗を持ちながら師足の肌寒い風を頬に受けながらの立哨でした。

師走に入り、何かと気忙しくなると同時に、年末年始の休暇を前に更に注意力の散漫になり、立哨中にも拘わらず無理に右折する通勤車両が見受けられるなど、皆様には、慎重な運転をお願いします。



立哨終了後、前田交通防犯部会長より、立哨で目にした危険と思われる運転内容等について、各自の職場ミーティング等で話をして頂き、情報の共有化を図る事で、少しでも交通事故撲滅に寄与して頂きたいとのお話が御座いました。

平成25年 12月27日 現在の 栃木県内 交通事故発生状況			
区分	25年	24年	増減数
発生件数 (件)	7,258	6,655	-603
死者数 (人)	101	91	+10
負傷者数 (人)	9,151	8,305	-846

今年の傾向として事故発生件数は前年比を下回ったものの、負傷者・死者数が大幅に増加しており事故の主な特徴とし、※交差点内での事故 ※人対車両事故 ※高齢者の被害が多いのが特徴との事です。

■国道408号線真岡宇都宮バイパス開通式

12月21日(土)9時30分より、栃木県農業大学校講堂において、一般国道408号真岡宇都宮バイパスの開通式典が福田栃木県知事・佐藤宇都宮市長・井田真岡市長・芳工連澤田会長等多くの来賓を迎え執り行われました。

式典終了後は、真岡宇都宮バイパス清南大地高架橋上に会場を移し、安全祈願の後、福田栃木県知事らによるテープカットが行われ、出席者全員により渡り初めを行い、開通式典を祝いました。



■安全衛生部会

1) 安全衛生事例発表会開催

12月4日芳賀町工業団地管理センターにおいて28企業41名が参加して、安全衛生事例発表会を真岡労働基準監督署高橋署長様出席のもと開催しました。

藤枝部会長の挨拶の後、事例発表に移り、発表は株式会社ピーエスジー総務課中山様・石川様の両名で行われ、業容説明については、設計部門・試作部門・機能テスト部門・実車耐久テスト部門についてのそれぞれの実務の詳細な説明が有りました。

安全衛生関連について、重点取り組み項目として、
◎災害の防止(設備及び作業の事前リスク評価を行い災害の未然防止に努める)

◎不安全作業発見時の処置(危険箇所・不安全作業と思われる行為を発見したら、直ちに事故防止を図る)

◎心と体の健康づくり(健康の保持増進活動に積極的に参加し、自己の健康管理に努める)を重点施策として活動を行っているとの事でした。

過去の労働災害についての振り返りでは、作業者間でのコミュニケーション不足・当事者の作業への焦り等が抽出され、対策としては、第三者(安全衛生委員会・産業医)による職場巡視、リスクアセスメントによる危険箇所の廃絶、個々の意識高揚の為の安全衛生標語の募集を実施、優秀作品には式典での全社員を前にしての表彰式を実施するなどの多くのアクションを展開し、重大災害ゼロを目指している事でした。

過重労働からくる、メンタルヘルス不調者を未然に防ぐ為に、自己診断チェックリストを配布し、所属長・産業医による面接指導等を行い、発生者の未然防止に努めているとの報告でした。

交通安全への取り組みについては、発生件数について減少はしているものの、加害事故の多くは(だろろ運転)との事で、対策としては、街頭立哨による自らの運転の振り返り、セーフティニュース発行による啓蒙活動、動画KYTによる危険感受性のUP、特に、新入社員研修時の安全運転教育では、新しい道路環境での事故防止に取り組んでいるとの事でした。

2) 真岡労働基準監督署 高橋署長安全講話

高橋署長様よりの講話冒頭では、県内の労基署管内での労働災害について、地域の産業を現わしており、例えば、県北では、牛や馬に蹴られる、猛獣に咬みつかれてしまうなどの災害が時としてあるとの事、また観光地を控えている日光などでは、ホテル、旅館の従業員の業務災害が多いとの話がありました。

国内での安全活動を振り返り、国内の先覚的な安全活動について、県内の足尾銅山での取り組みを例に、その背景にあった、米国最大の鉄鋼会社USスチール社が1906(明治39)年にゲーリ工場立ち上げの際に、「安全第一」をスローガンとして掲げ、工場設計、建設施工・設備搬入・レイアウト・据え付け・運転に至るまでの全過程を安全第一主義の下に実施したところ、災害が激減すると共に生産効率も大幅に改善された事が後に日本に伝わり、明治44年当時の、足尾銅山所長小田川全之がその考え方を取り入れ、「安全専一」と記した珐瑯製の標識を坑内作業所に掲



げ、大正2年から同事業所所内報である「鑛夫之友」を刊行し、同誌に作業安全を喚起するための講話を掲載するとともに、大正4年には安全心得読本を作成し作業員全員に持たせるなど、文字通り事業場での安全確保のための先駆的活動を率先したエピソードを交えての安全講話をされました。

現場での災害の主たる要因には、人に起因する事が多く、（知らなかった・出来なかった・やらなかった・不注意）等あげられ、それに対する対策は決して難しい事では無く、（教育をする・訓練をする・やる気を起こさせる・意識を高める）事が重要で、特に採用された時、新たに配属された機会に実施する、雇い入れ時・配属時研修・教育が最良の対策であると御話をされました。

年末年始を控え、12月15日より翌年1月15までの期間を「年末年始無災害運動期間」として労働災害の防止を呼び掛けており、参加された企業の方に、全従業員が年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎える事が出来る様に、安全活動を更に強力に推進してほしいとの言葉で講演は締め括られました。

■第3回役員会開催

12月13日役員会が開催されました。今回の主な議題は、4部会の活動実績報告、及び活動を通して明確になった課題の共有と今後の展開に向けての協議、1月17日予定の芳工連賀詞交歓会での役割担当の確認、2月14日開催予定の県知事との意見交換会に向けての対応等多岐に渡りました。

次回役員会は、役員人事、4部会の年間纏め、来期活動計画・予算の素案及び、新正副部長決定後の平成26年3月第3週頃に開催する予定となりました。

役員の方々には、企業の重責であり年末を控え業務多忙の中出席を頂きありがとうございました。

■芳賀町観光協会よりのお知らせ

2020年東京オリンピック開催に向けた行動の一環として、また芳賀郡市の発展と絆を深める為、芳賀1市4町をコースとして回る仮称『芳賀真岡マラソン大会』が企画されており、19日益子町中央公民館で、大会実行委員会が開催されました。

開催予定日は、2014年12月21日（日）で、真岡市井頭公園をスタート・フィニッシュとし、芳賀1市4町（真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町）の42.195Kmを設定、男女別及び年齢別で7つのカテゴリーに分かれており、参加人数は2,000人を予定しているとの事、詳細については、芳工連だよりでも順次掲載させて頂きます。現在は仮称『芳賀真岡マラソン大会』となっておりますが、後日多くの方より名称を公募と予定との事。

■事務局より

この一年、芳工連の運営について、多くの皆様のお力を頂く事が出来感謝申し上げます。

26年も旧年同様宜しくお願い致します、

皆様に於かれましても、26年がより良い年で有ります様にお祈り申し上げます。



芳工連日誌

【12月の実績】

- 03日 芳賀町総合情報館運営協議会
- 11日 安全活動事例発表事例報告会
- 12日 交通安全横断幕設置
- 13日 第3回役員会
- 15日 宇都宮・茂木線祖母井工区開通式
- 18日 交通街頭指導
- 19日 町民祭担当者会議
- 19日 芳賀真岡マラソン大会実行委員会
- 21日 国道408号線開通式典
- 25日 資源ごみ回収
- 28日～5日 年末年始休暇

【1月の予定】

- 6日 仕事はじめ
- 7日 交通安全のぼり旗・横断幕撤去
- 8日 芳賀町賀詞交歓会
- 15日 団管連幹事会
- 17日 芳工連賀詞交歓会
- 22日 普通救命講習会
- 22日 資源ごみ回収